

令和7年度 京都市立大枝中学校 学校経営構想

1 大枝三訓

「自学自律」…自ら学び、自ら律する力

「協和協働」…誰とでも仲良く、ともに行動する力

「連携連帯」…地域や、学年・学級を超えてつながる力

2 学校教育目標

「自ら学び律し、ともに行動し、人とのつながりを大切にする生徒の育成」

3 目指す生徒像・教職員像・学校像

〔目指す生徒像〕

- ・知識を正しく習得し、自分の考えを発信できる生徒
- ・物事を正しく判断し、ともに学び、夢に向かって行動できる生徒
- ・自他を大切にし、人とのつながりを大切にする生徒

〔目指す教職員像〕

- ・生徒理解に努め、生徒に寄り添い、信頼される教職員
- ・「チーム」として協働し、互いに学び合い、常に向上を目指す教職員
- ・生徒があこがれる、魅力ある大人像を示せる教職員

〔目指す学校像〕

- ・生徒が「通いたい」、保護者が「通わせたい」と思う、学びのある学校
- ・生徒・保護者の願いが実現できる学校
- ・生徒・保護者や地域に信頼され、愛される学校

4 学校経営方針

「教育目標」「目指す生徒像」「目指す教職員像」「目指す学校像」を達成するために

- ・教職員の意識改革を図り、働き方改革を踏まえながら、組織的で有機的な学校経営
- ・すべての授業や取組みに対し、日々、研究・改善の推進
- ・生徒が夢や目標に向かって、自ら切り拓くことのできる力を育てる学校づくり
- ・学校評価を含む各種調査の結果等をもとに、生徒の状況や意識、保護者の願い等を把握した学校経営の検証と改善

- ・義務教育9年間の一貫した学びと豊かな育ちの実現を図るため、小中連携主任を中心に校区内2小学校と連携の推進・強化
- ・学校運営協議会を核とした「開かれた学校」づくり

5 本年度の重点目標

- 1) 教職員一人一人が常に研究・改善に努め、常に自身のスキルの向上を行う。
- 2) 命を大切にし、また、他者を大切にし、同時に自分自身も大切にされていることを実感し、いじめを許さず、人とのつながりの大切さを実感する、心や態度を育てる道徳教育や人権教育の推進を行う。
- 3) 生徒を支え寄り添う姿勢で、生徒指導体制や取組みの充実を図り、生徒の自律する力や協働する力、そして自己肯定感・自己有為性の向上を行う。
- 4) 各教科・領域において「言語活動」を取り入れ、「主体的・対話的で深い学び」の一層の推進を行う。そのために、GIGA スクール構想を踏まえ、「個別最適な学び」・「協働的な学び」を実現するICT活用をした授業や取組みを行う。
- 5) 生徒の状況や取り巻く学習環境を的確にとらえ、適切な学習課題を提供し、その活用を踏まえた授業を行う。
- 6) 探究活動を基本とした系統的な総合的な学習の時間を実施する。また、それらを通して、生徒が自身の夢や目標を持ち、未来を切り拓く力を育てる進路指導を行う。
- 7) 学校評価等の各種調査の結果により、生徒の変容を検証し、本校の教育課題を明確にし、それらをもとに取組みを研究・改善し、より質の高い取組みを行う。
- 8) 不登校生徒や困りを抱えた生徒に対して積極的な支援を行う。
- 9) 生徒の自主的な活動や自己実現のために、生徒会活動の活性化の促進を行う。
- 10) コロナ禍における経験をもとに、新しい教育活動への発想転換とその実現を行う。
- 11) 小学校と協働し、小中一貫として、9年間で児童・生徒を時代の社会の担い手となるように育成する。